

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのとれだと思いませんか？

○ 印を付けて下さい

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 明日は明日の風が吹く | 1. 波に乗る |
| 2. 浮の世の風は思に任せぬ | 2. 凧に乗る |
| 3. どういう風の吹き回しか | 3. 尻馬に乗る |
| 4. 何処吹く風 | 4. 軌道に乗る |
| 5. 月に叢雲、花に風 | 5. おだてに乗る |



問題

おだてにまはる



おだてにまはる



はじめに断っておくが、私はオダテに乗りやすい。
 「またまた」「よく言うよ」と一応は否定してみせるが、オダテられながらだつたらお菜(かず)がなくても、ごはんが3杯は食べ

られる。
 「どうすると、そんなに美しくなれるの?」
 と言われてゾウリ無視を噛みつぶしたような顔をする女性はまずいないだろう。
 「あなたのような人間になりたいんです」

と言われて、人生をやり直そうと思う人もいないように、オダテは人を有頂天にさせ、自信を持たせる。

実際に私は見たことがある。オダテられたブタが木に登ったのを、「ブタもオダテリヤ木に登る」は有り得ないとしても、私のモットーは「何しろオダテて北極と難局を打開しよう」である。

北極は置いといて、難局を打開した経験がある。

私の失敗(ミス)で会社に多大な損害をかけたってしまったときのこと。社長と会長に責任を追究された。青筋を立てた社長に、「どう責任をとるつもりだ」と迫られたとき、

私は、

「東北の人は気持ちが大きいと伺っております。特に秋田出身の女性はやさしいだけでなく、日本一の美人揃いというのは本当だったんですね」と言った。

それを聞いた社長が喰ってかかろうとしたとき、会長が社長の肩を叩いて、

「今回だけは、この正直な社員を許してあげましょう」と言った。

会長は社長の奥さんで、社長は入り婿である。

会長は秋田県出身。美人ではないが。



とちかぎの風



何処吹く風



「よいか、男が一步外に出たら七人の敵がい
ると言われるように、世間というものは油断
のできないところなのだ。聞いておるのか、
与之助」

「はい。父上」

「禰(ふんどし)を締めてかからなければ、
ちよつとしたことが命取りになるところなん
だ。聞いておるのか」

「はい」

「お前も明日からお城づとめだ。今までのよ

うな口を半分開けたような顔つきではやって
いけないぞ」

「.....」

父は放心したような息子の視線の先を追っ
てみると、美しい隣りの娘が行水をしている
のが堀ごしに見えた。

父は額に青スジを立てて静かに言った。

「もしもしカメよ」

「カメさんよ」と与之助は堀の外に目を向け
たまま答えた。

父は息子を勸当した。

右の耳から左の耳に抜けて行く風が何処吹
く風である。左の耳から右の耳に抜けるでも
いい。いずれにしても、自分に向けられた言
葉を、他人事のように聞き流すことである。
聞いているのに聞いていないことである。

「あなたは貴重な経験をしているんだから、
二度と失敗を繰り返さないように、経験を生
かして頂戴よ」

「わかつているわよ」

母は懇々(こんこん)と言ひ聞かせて娘を
送り出したが、また帰ってきた。

母の忠告 何処吹く風と、

娘は再び 出戻った。

